

公表

事業所における自己評価結果

放課後等デイサービス

事業所名	こども発達未来スタジオIppo 三日月教室		公表日	令和8年3月12日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		部屋ごとに用途を振り分けて使用しています。利用者が多い時は屋外で活動を行うなどの支援を行っています。	利用人数に応じて明確な仕切り等を使用し児童一人一人の活動がスムーズになるようにさらに改善を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士などの経験豊富なスタッフと人員配置以上に職員を配置しています。	利用者の人数が増えた場合支援の充実を図るため職員を増やす必要があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	宿題や活動するスペースがある視覚刺激を最小限に抑えるため、掲示物の量や位置を工夫し、子どもが活動に集中しやすい環境を整えています。部屋の入り口に何をやる場所が分かりやすく絵カードで個別スケジュールとマッチングでき、視覚支援につなげられています。	外階段昇降の際には職員が見守りの中で転倒や転落に注意しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		クールダウンが必要な子が安心できるような工夫をしています。動と静の活動スペースを分けることで、切り替えが苦手な児童にも配慮した空間構成しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーティションや棚を活用し、必要に応じて空間を区切る可変的な支援室となっています。必要に応じてパーティションを使用し、安心やクールダウンできる空間を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		月間計画に基づきモニタリング、ミーティングを行い、職員間で意見交換し目標を決定しています。	引き続き、PDCAサイクルを心掛け、現状把握と課題の共有に努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングを行っている。職員間で意見交換し目標を決定しています。	日頃から要望を話しやすいように関係を築いていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		意見箱を設置している定期的な職員会議やミーティングを通して、職員の意見や気づきを共有する機会を設けています。	引き続き、職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	第三者による外部評価は行っておりません。	第3者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的開催され、参加している定期的な研修で学びの機会があります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		5領域に基づきプログラム作成しHPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		毎日異なったプログラムを設定しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議やモニタリングに参加している日々の支援の中での気づきを共有し合いながら、より良い支援に繋がるよう話し合いをしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		ファイルに閉じその都度確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		外部機関で実施された検査結果でも発達状況を把握し個別支援計画の作成に活かしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		本人の思いや得意・苦手を反映し、本人主体の支援目標となるよう工夫しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		ミーティングで話し合っている各職員が担当した児童について児童発達支援管理責任者とのプログラムの立案を行っています。その後、全体会議で全職員と共有しています。	活動内容のねらいを明確にして、全職員で統一した支援を実施できるように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		ミーティングで変更すべきところの意見を出し合っています。目標達成時や児童の様子を伺い、様々な活動や経験を行います。	これからもお子さん一人ひとりの発達段階に応じたプログラムの作成に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		日々の支援内容を考える際に組み合わせられている常に一人ひとりの児童と向き合い、個別と集団活動を組み合わせています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼の際に確認している支援開始前に必ず朝礼を行い、その日の支援内容や流れを職員間で共有しています。朝礼の際、毎日確認を行って支援にあたっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼の際に行っている終礼の際、共有事項や報告を行って話し合いをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用時における記録や実績は、保護者への説明と同意のサインを頂いています。また送迎時に具体的な今日の児童の様子を保護者に説明しています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		各利用者の状況、サービス内容の確認を行っています。定期的な計画の取り決め、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		「いいね！」ポイントを活用し、活動の中で自己選択する等の場面を設けながら支援しています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分で選択できる内容を考え、支援内容を考えています。「どれにする？」「どうしたい？」と声かけを行い、自分の気持ちを伝える経験を大切にしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		主に児童発達支援管理責任者と支援担当者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		報告・連絡・相談をしっかりと行えるようにしている・送迎時学校の先生と話す時間を作り情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	これまでご要望がありませんでしたが、情報提供等をする体制はあります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		今後連携し取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	今後もっとこういう機会があったらなあと思います。	実施できていないが、今後交流する機会を増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		今後参加できるように検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や口頭等でお伝えするようにしている質問に答える時間を設けながら保護者の方と共通理解が図れるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	必要に応じて面談やアドバイスを行っています。	保護者の方への情報提供や相談の機会を大切にしながら、家族支援につながる取り組みや研修等についても今後検討してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用者、保護者同伴のもと見学・体験をしていただき説明後、ご納得の上で契約を結んでいます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定期的なモニタリングを行い、近況をお伝えしたり、支援内容を説明したうえで次期個別支援計画の作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		必ずお会いして説明を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		相談があった際には必要に応じて面談を実施しています。送迎時など面談以外にも随時行っています。	今後も継続して個別相談に応じながら本人が安心して過ごせるよう支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		年に数回行われている親子クッキングや運動会を行っています。	引き続き交流する機会を設けるため開催していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		お便りや面談等で相談に応じる旨をご案内しています。送迎時、電話連絡、ラインにて保護者から問い合わせを頂いています。苦情や苦情に発展しそうなケースは迅速かつ適切に対応しています。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		活動の様子はHPやSNSにて公開をしています。毎月行事予定表や教室だよりの発行をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付キャビネットを使用しています。契約時に説明を行い同意書を作成しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子さまには絵カードや視覚支援ツールを用いています。保護者へは送迎時や連絡帳、ライン、電話などで対応をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		今後、地域交流を目的に地域の方々をイベントなどに呼びかけ、取り入れていきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		実際の発生場面を想定した避難訓練や対応訓練を定期的実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的開催している・全職員がガイドラインを確認しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時、定期受診で変化がみられる際などに保護者と情報を共有しています。服薬する場合は与薬依頼書の記入をお願いしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		医師の指示書はないが、クッキング等で食品を扱う際は保護者へ必ず聞き取りを行いアレルギー情報を共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		活動として施設周辺の危険な場所を確認したり避難場所や経路を確認したり練習をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時にお伝えしています。	今後も保護者の方へよりわかりやすい周知方法を検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		すぐに情報共有し、話し合いを行っています。危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止に関する責任者を設置。事業所内でも虐待防止の研修に取り組んでいます。事業所内にモニターカメラを設置しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、やむを得ず身体拘束をしている児童はいません。保護者には契約時に説明後、ご納得の上で契約を結んでいます。	突発的なトラブル対応について再確認する必要があり今後の検討課題としてまいります。